

えびあん

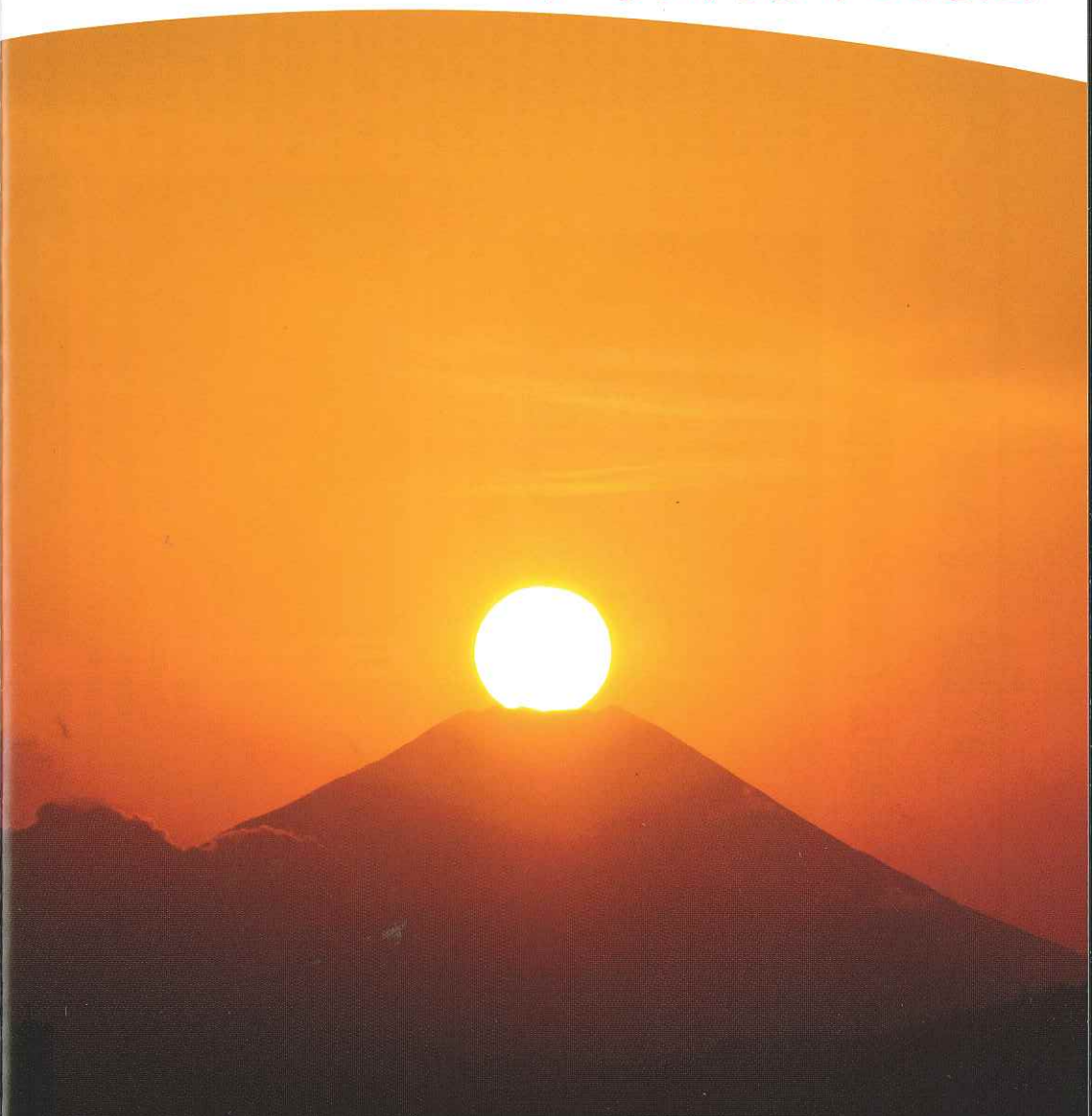
立川と語ろう 立川に生きよう

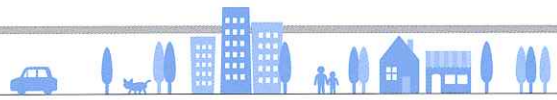
December 2016

Écoutez Bien Vol.35 No.385

12

オーケストラがやってきた!



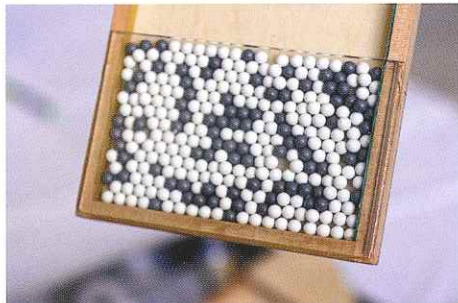


統計数理研究所 子ども見学デー

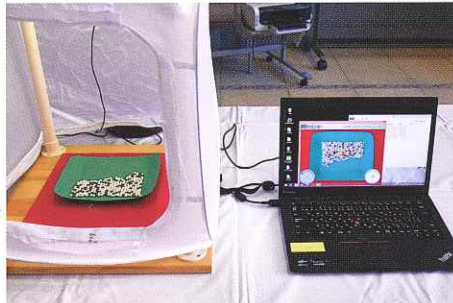
統計研って敷居が高いなんて思わないで、まず行ってみましょう。面白いんです。お子さんたちの頭は柔らかいから、ゲームで統計学に触れていけば、すんなり馴染めるのかもしれない。10月15日(土)、立川観光協会のスタンプラリーの一環でもある統計研で、まずはBB弾でサンプリング大実験。10万個のBB弾のうち、黒い球の数がいくつあるかを統計的に求めるものです。なんて文章で言うと難しいのですが、やると簡単! この方法は、大量生産される商品の不良品の数を求める時などに利用されるそうですよ。さて、次はじゃんけんゲームです。コンピュータとじゃんけんして、先に15勝した方が勝ち。じゃんけんのパターンをコンピュータに読み取られてしまうと負けてしまいます。勝負が終わると挑戦者のじゃんけん癖パターンを、10に分けて診断してくれます。えくてびあん、コンピュータに勝ちました! 勝ち負けが気になる「勝負こだわりタイプ」と診断されました。そうかしら?



子ども見学デーの日玉はふたつ。じゃんけんゲームとBB弾。



300個のBB弾のうち、黒はだいたい70個くらい入っています。



左側の装置の中で撮影し、右のパソコンでカウントします。これを何回も繰り返すと、統計的に黒玉の数が予測できます。



コンピュータとじゃんけんすると、だんだん手を読まれて勝てなくなってきます。

シン・ゴジラ ロケ地ツアー

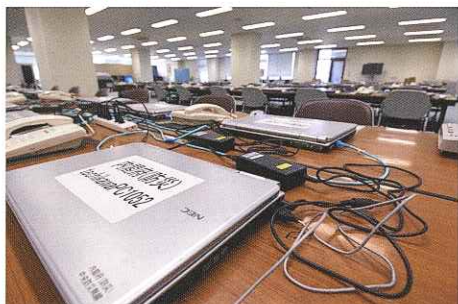
映画「シン・ゴジラ」の中でゴジラ対策の拠点となったのは、実は立川市。10月15日(土)、立川市産業観光課のご案内でそのロケ地を見学してきました。めったに入れないところとあって、一般市民の見学希望者は多数あったそうです。お隣は海保フェアが行われている海上保安庁。内閣府と記されたアンテナで、場所は市民の皆さんならすぐおわかりでしょう。立川広域防災基地内の災害対策本部予備施設です。通常は非公開ですから、えくてびあんも初めて入りました。見せていただいたのは映画でも使われた場所。写真でお楽しみください。それにしても特撮ってすごい!!



入口を入ってきて右に曲ると本館と新館の間の道にです。映画にも登場した場所。



対策本部の皆さんが会議をするところ。手前の男性の席が本部長(通常は内閣総理大臣)が座るところだそう。



オペレーションルーム。有事の際にはここであらゆる執務が行われます。ワンフロアすべてこの状態



この屋上でも撮影されました。

子供たちが創るフェスティバル!

公益社団法人 立川青年会議所が主催するキッズドリームチャレンジ。小学4年生から6年生までの約150人が、11業種に分かれて職業体験をする企画です。その成果として、今年はサンサンロードでフェスティバルを開催しました。キッズドリームチャレンジは今年で3回目。解放された場所で開催できたこともあって、来客から「今年は来た人みんなが楽しめていいお祭りになっている」との声も。子どもたちにはなかなか接点のない警察官や銀行員などの職種も体験できていい勉強になったのではないのでしょうか。えくてびあんもフェイムコーポレーションさんと一緒に「ジャーナリスト」という職種で文章の書き方やチラシの作り方をお手伝い。後日、子どもたちから読書感想文や作文で選ばれたと聞き、とても嬉しく思いました。



10人のジャーナリストチームメンバーと本番前に打ち合わせ

異分野交流は 国文研から

文系と理系を融合させる大型プロジェクト

大型プロジェクトは、一面「データベース構築プロジェクト」
なんだか文学とは程遠い気がするけれど、
実は一般人にも文学が身近になる嬉しいシステム

『日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画』

いわゆる大型プロジェクトの正式名称は「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」です。略称は「歴史的典籍NW事業」ですが、では日本語の歴史的典籍とはなんぞや?ということですよ。簡単に言えば、近代以前、つまり明治時代までに日本人によって書かれた書物、古典籍のことです。2014年から2023年までの10年計画で、国文学研究資料館を中心に、国内外の大学や研究機関と連携して進めています。

当初この事業は「日本語の歴史典籍のデータベース構築計画」と言われていて、古典籍そのものをインターネット上でどんどん公開しますよという仕事でした。国文研まで来ないと見ることができなかったものが、自宅にいて見られるようになるわけですから、僕のように地方にいた人間からすると、願ったり叶ったりなわけです。もともと国文研なんて敷居の高いところですし、夜中に開いてないですしね。研究者ではない一般の方々でも、古典籍を読みたいと思っているかもしれない。ウェブ上に公開されると、極端なことを言えば、国文研にアクセスしさえすれば、お金をかけずにダウンロードして読むことができ、研究者と同じ位置になれる。平等なわけですよ。これはきっと役に立つ。これ

は大きいな、自分も役に立つこととしてみたいなと思って東京に来ました。

江東区の宿舎住まいですが、通勤時間は苦になりません。東京のラッシュは大変だと言われていたのですが、まだその大変さは経験していません。ラッシュとは反対方向です。大阪では勤めていた大学が南港というところであって、自宅のある兵庫県の篠山市から通勤に2時間かかっていた。福知山線が大阪から出ていますが、30分に1本しかない!それに比べると、時間を気にせずに電車にのればいいのですから楽です(笑)。篠山、ご存知ですか?栗や黒豆を使った和菓子が多い。和菓子は大好きですね。基本的に関西は粒あんですよ。こしあんは東京の人が食べるものでしょう。

古典に親しむ

国文研のHPから「歴史的典籍NW事業」というところへアクセスしていただいて、「日本古典籍データセット」というところを見てください。ここからダウンロードできます。いちいち国文研にことわらなくても、実際の本のデータを自由に落とせます。たとえば、「豆腐百珍」って豆腐のレシピ本などもあります。面白いでしょう?画像もどんどん使ってもらっていいのです。国文研所蔵とだけ書

けばいい。内容を読んで研究しましょうという研究資料としての利用はもちろんですが、もっと別の使われ方をしてもいい。古典籍の中のこの絵をちょっと使いたいと思う。それでもいいわけです。春の手紙にでも使ってみたいと思ったら、梅を切り取って、国文研所蔵と書いてくれればどこに使っていただいても構いません。見るだけでもいいし、使っていただいても結構です。なんかよくわからないけれど面白そうだねと思っていたく、こういうところから古典に親しんでもらいたいと考えてオープンデータにしています。700点ありますから、自由に使ってください。今後どんどん増やしていきます。

このこと自体は、実は大型プロジェクトの話ではありません。大型プロジェクトを一般に広く知ってもらおう入口であり、また我々研究者、特に異分野の先生方が古典籍を利用しやすくするためのものです。古典籍を見ようと思ったら、以前は研究者であってもまず国文研に来て閲覧申請をし、お金をかけて紙焼きか何かに落とすという具合でした。それがオープンデータになりましたから、今まで一番困難だった材料入手という段階がものすごく簡単になった。古典の中の同じ図柄をパパパッと見つけたいという時、他人の手を介さずに探したいという時など、材料を渡しますからどうぞ自由に使ってください、いちいち断らなくていいですよとしたわけで

山本和明氏

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター 副センター長・特任教授 大阪府出身。川端康成が出た茨木高校卒業。神戸大学から同大学院博士課程を経て、大阪の相愛女子短期大学、相愛大学勤務。2013年10月、大型プロジェクトのために国文研に着任。本来は、19世紀の日本文学研究者。山東京伝を専門にする。が、国文研に赴任してからは、データベース構築プロジェクト事業に専念。極地研の一般公開にも参加、すっかり理系の先生のように見える。

す。するとそこから次の動きが起こってきます。「国文研のオープンデータの閲覧画面って見づらいね」となると、ある研究者が簡単に見られるものを作ってくれたり、とかね。こうして古典籍に親しんでいただける。

大型プロジェクトでは30万点の画像データの公開を目標にしています。集めること自体も目標ですが、30万点もの画像を、ひとりで全部見ることはできません。そこに「検索」が役立つわけですね。どうやって検索をかければ自分の必要な情報にたどりつけるか。検索機能の側面が大事になるんですね。私たちの今までの経験や考え方からすると、1つひとつの画像を繰り返していかかと思われるかもしれませんが、タグという便利な機能を用います。例えばウェブ上に公開して、みんなでタグをつけてくださいと言えば、短時間でできてしまうでしょうね。さらに、多くの人が見ているわけですから、国文学の本以外にもこんな情報があるとわかってきます。それ自体がものすごい情報ですし、新たな発見になります。以前でしたら、この本は国文学の研究者が読む本、この本は理学の研究者が見る本、医学の人が見る本と、縦に分かれていました。ここに横線を刺すように検索できたら、どうですか?また新しい学問が生まれてくるかもしれない。異分野の方とセッションしながら古典籍という素材のもとに共同研究していく、それが狙いです。大型プロジェクトとはこういうことなのだと思います。

実際の共同研究

情報学研究所とも共同で検索について研

究していますし、お隣の極地研究所とはオーロラのことで共同研究をしています。〈「古典」オーロラハンター〉は市民参加型で、古典籍や天文に興味がある一般の方々に参加してもらいました。古典籍・古記録

のなかからオーロラに関する記述を抽出してもらったんです。「赤気」という記述は「赤いオーロラ」を示しています。ここでみなさん思うんですね、「くずし字が読めないといけないか」って(笑)。くずし字は、見るのも大変かもしれませんが、読もうとするから大変なんですね。文系の僕らは「字」として読もうとしますが、理系の人の発想は面白い!くずし字を輪切りにして、ひとつのスリットのベクトルを数値化する。そして同じものが他にあるかどうか探してくるわけです。読んで探すのではなく、形で探すわけですね。くずし字を楷書にすることを翻字といいます。ところが、公立はこだて未来大学と凸版印刷と国文研の共同でやって、簡単にいうと実際には進んできています。

過去の歴史を知ろうと思ったら、地層であるとか氷であるとか、あるいは書物であ

るとか、それらを読み解くしかないわけですよ。今生きている中でわからないことは歴史の中に見ていくしかない。そうなるとお互い、何らかのセッションが必要になってきます。たとえば普通のノートパソコンで進めていると時間がかかって仕方ないものも、今はもしかすると統計数理研究所の大型コンピュータでやれば一気に進んでしまうかもしれない。僕ら文系の人間は手作業しか思いつかないことも、理系の先生に言えば「こんなもの機械にやらせれば」と教えてくれるんです。逆にこういう書物にこんな記録があるよとお伝えできるかもしれない。お互いに平等な立場のネットワークを作ること、2023年までの10年計画です。10年間でどこまでできるか。大きなフレームを作って、それを持続させること、それが国文研にとって大事なことです。そこに情報が蓄積されていけば、大きなデータベースになって役にたつのではないのでしょうか。



新春は ウィーンの香りで

ベーゼンドルファーの魅力

2017年1月14日、RISURUホールで開催されるニューイヤーコンサート。
音楽の都ウィーンで抜群の人気を誇る名門オーケストラがやってくる。
そこでピアノを弾くのはこの人、久元祐子さんだ。



ウィーン・サロン・オーケストラ



久元祐子さん

—ウィーンでニューイヤーコンサートなんて、素晴らしいですね。どんなプログラムなのですか？

久元 ウィンナーワルツが中心です。ヨハン・シュトラウスⅡ世の「美しき青きドナウ」など馴染み深い曲を、本場の演奏でぜひお楽しみいただきたいと思います。私はモーツァルト最後のピアノコンチェルト第27番を共演させていただきます。またバレエやオペレッタなど盛りだくさんのプログラムで新年のひとときを彩ります。

—RISURUホールでは、外来オーケストラのコンサートは初めてだそうですね。

久元 はい。オーケストラのメンバー、バレリーナ、声楽家、スタッフと多くの人がかかわるコンサートです。今回、立川市地域文化振興財団主催、セレモア文化財団の特別協賛により開催されます。

—ウィーン・サロン・オーケストラとの共演は、ウィーンでの公演も含めて4回目だそうです。どのようなオーケストラなのですか？

久元 1994年にウィーン・フォルクス・オーバー交響楽団のメンバーにより結成されました。音楽の都ウィーンを今に受け継ぐ名門オーケストラとして、地元でも圧倒的な支持と抜群の人気を誇っています。音楽を心の底から愛し、息を合わせる中で緊密なアンサンブルを展開してくれます。共演のたび、「彼らは練習ではなく「血」で弾いている！」と感じます。毎回、大きな刺激をいただき、私自身楽しみに弾かせていただいております。

—久元さんは、世界でも数少ないベーゼンドルファー・アーティストのおひとりに選ばれているそうですね。

久元 光栄なことだと思っています。ベーゼンドルファーは、1828年ウィーンで創業されたピアノ・メーカーで、モーツァルト時代のウィーンの香りを現代に伝えてくれる名器です。ウィンナー・トーン

久元祐子氏

東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻、同大学大学院修士課程修了。ウィーン放送交響楽団、読売日本交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや合奏団との共演多数。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012年、14年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。1829年製ベーゼンドルファーなど歴史的楽器を多数所蔵し、それらを用いての録音や演奏会にも取り組む。2015年リリースのCD「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞「特薦盤」、レコード芸術「特選盤」となる。その他CD、著書多数。

一部写真提供：久元祐子さん

と呼ばれる温かく深い響き、歌うような柔らかな音色、至福のピアノニッシモが特徴。長年愛用する中でベーゼンドルファーの楽器が多くを教えてくださいました。昨年、ウィーン放送交響楽団との共演ではベーゼンドルファーのモデル290インペリアルで共演しました。インペリアルは最上位機種フルコンサートグランドピアノです。今回はRISURUホールにあるモデル275で演奏させていただきますが、ウィーンのオーケストラとウィーン製ピアノの溶け合う響きも楽しんでいただければと思います。是非おでかけください。

—海外、国内と年間50回以上の演奏会をされていらっしゃる久元さんですが、立川ではこれまでどのような演奏会に出演してこられたのでしょうか。

久元 2009年、2010年に「モーツァルトの美意識を探る」コンサートシリーズに出演させていただきました。これらは2008年に国立音楽大学と立川市との連携・協力に関する協定の締結記念としてアミュータチカワで行われた演奏会です。2014年にはRISURUホールリニューアル記念コンサートとしてベーゼンドルファー・ピアノのお披露目演奏会、2015年には「モーツァルト いま むかし」と題しRISURUホールに歴史的楽器を搬入し、モーツァルト時代と現代の響き両方を一晩で楽しんでいただくコンサートも行いました。「楽しいクラシックの会」コンサート、「錦まつりコンサート」、そしてセレモアコンサートホール武蔵野やCHABOHIBA HALLなどでもたびたび演奏させていただいております。

—国立音楽大学で教鞭もついでいらっしゃるんですね。

久元 はい。演奏論、室内楽作品研究、演奏解釈などの授業の他、個人レッスンもさせていただいております。国立音大は今年創立90周年を迎えました。楽器学資料館では、90周年記念事業としてピアノ・プロジェクトが行われ歴史的楽器を5台用いての「歴史的ピアノが奏でる名曲の調べ」、翌年にはサントリーブルーローズに3台を運び入れて「黎明期のピアノたち」を開催しました。大学の5階にある資料館からクレーンを使って外に出しますので、雨が心配されましたが、梅雨時にも拘わらず晴天！ 晴れ女でよかった…と思った瞬間です。

—久元さん、晴れ女なのですか。

久元 はい。津々浦々の演奏会場に行くと「ずうっと雨が降っていたのに、今日は奇跡的に晴れています。演奏会でなく運動会で来



セレモアコンサートホール武蔵野(立川市柏町)

てくださいよ」と言われたりするんですよ(笑)。

—では、来年のニューイヤーコンサートもきっと晴れですね！

久元 ミューズの神様がきっといいお天気にしてくださると思います。皆さま、RISURUホールでお会いしましょう！

ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2017

日時：2017年1月14日(土) 15:00開演(14:30開場)

場所：たましんRISURUホール 大ホール

全席指定

チケットはたましんRISURUホール

TEL 042-526-1311 (9:00~20:00/第3月曜日休館)

えくてびあんは久元さんのお話を聞かせて頂いて、音響の第一人者永田穂さんがたましんRISURUホールの音響を手がけたこと、また同ホールに素晴らしいベーゼンドルファーがあることを知りました。このニューイヤーコンサートは都内別会場でも同じプログラムで開催されるそうですが、チケット代がまったく異なります。セレモア文化財団の特別協賛があつてもお得になっているこのビッグチャンスに、本場の音をご家族やお友達と楽しめたらいかがでしょう。

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 柴崎町・富士見町 のお店です。

柴崎町

- 日級食堂 相模屋.....525-9478
- ティエゴジ.....525-6366
- サイクルハウス 輪輪館.....522-8100
- ひがしミート.....522-6266
- 備正盛堂.....522-2328
- 小林歯科クリニック.....527-8217
- ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116
- オリオン書房 サザン店.....525-3111
- ステーキ&ハンバーグ WISH BONE 527-7199
- 三船クリニック.....523-6693
- 西武信用金庫 立川南口支店 529-1311
- たましん 南口支店.....528-2211
- リオネットセンター立川.....523-3321
- りそな銀行 立川支店.....522-4161
- オリオン書房 アレア店.....521-2211
- ほっとすべす 中屋.....522-2932
- 立川ワシントンホテル.....548-3380
- Coffee Shop LARGO.....525-6704
- パッケージプラザ カサイ.....522-8601
- 餅げやき出版.....525-9909
- はじめ治療院.....526-3519
- 手づくり きょうざ工房.....522-4770
- 喫茶 ギャラリー花.....524-3668
- 髪職人 YOSHIZAWA.....522-5593
- のーかる.....512-5415
- 矢沢歯科.....525-6600
- ラ・フレズシュクレ.....525-3513
- キッチンコート立川店.....540-1131
- LaLaLa.....090-2564-3198
- スープ・カフェ なんでもない日 523-5114
- 武本測量(株).....524-7731
- 立川市柴崎市民体育館.....523-5770
- NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112

富士見町

- 浅見酒店.....522-2823
- 伊藤整骨院.....524-7861
- 手づくりケーキの店 プティ・パニエ 529-8364
- さえき 西立食品館.....529-5333
- 西村歯科クリニック.....519-9501
- 井上レディースクリニック.....529-0111
- 中華レストラン 東華園.....529-0458
- 榎本調剤薬局.....526-2322
- 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866
- 飯塚花店.....522-5684
- うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054
- （株）ホーミー.....522-2220
- カフェ・貸しホール ばくだん畑 522-2214
- Café Cuisson.....090-6935-1227
- 波多野米店.....522-2884
- 立川市社会福祉協議会.....529-8323
- 桜井電材(株).....523-5281
- 立川市歴史民俗資料館.....525-0860
- 乙黒東洋整骨院.....523-1859
- インテリア アイアイ.....522-5972
- たましん 富士見町支店.....528-1741
- 滝ノ上米店.....522-4019
- ESPOA おぎの.....522-4500
- 建築リフォーム 南日防商会 0120-263-821
- （株）立川印刷所.....524-3268
- 松栄寿司.....524-6958
- ふじみ食堂.....523-4791

zorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

感動！自衛消防審査会

前号でその練習風景をお伝えしました。えくてびあんでは創刊当時からこの審査会の様子を記事にしています。安心・安全な街づくりには欠かせない自衛消防。初期消火の大切さや、消火栓の操作方法は、大型商業施設や病院、老人ホームなど人の集まる場所では事業所の責任としてみんなが知っていたいとても大事なことです。防災防火意識の高い事業所が、新人教育の一環として行っているこの審査会をもっと一般市民の皆さんに知っていただきたいなと思います。通常業務外の練習はとても大変です。慣れない大声や、号令、規律に加え、重いものを持って走るなど、非日常の連続です。でも、それを恥がずかたらず頑張った25チーム。来年はもっともっと多くの参加があるといいですね。



男子隊3連覇の立飛ホールディングス



男子隊準優勝の立川市役所(昨年は3位)



男子隊3位の立飛プロパティマネジメント



音中は増田立川消防署長



女子隊2連覇の一如社



女子隊準優勝の自衛隊東立川駐屯地 7年ぶりの出場です



女子隊3位の真如苑

至誠合同バザー

10月8日(土)。朝のうち雨が降っていました。錦町の至誠ホームで、毎年恒例の「児童事業」「保育事業」「高齢事業」の合同バザーが開催されました。知る人ぞ知る「掘り出し物市」のようなこのバザー。近隣の方には人気です。いいお天気ならお庭で行われるイベントも、この日は建物の中で行われました。ゆっくり時間が流れる、そんな穏やかな楽しい1日でした。



快晴の下、箱根駅伝予選会 開催

10月15日(土)。いいお天気でした。風もほほほありません。箱根駅伝予選会はお天気に左右されることなく実施されます。でも、やっぱりお天気はいい方がいい。9時35分に立川駐屯地をスタート。ゴールまでにも、ゴール後も毎年悲喜こもも、涙のドラマがあります。今では生中継もされるほどの人気イベントになった予選会。えくてびあんは出場選手、それを支える部員たち、そして縁の下の力持ち「陸協」のみなさん、ひとり一人にエールを送りたいです！



立川駅北口大通りで

2016 海保フェア in 立川

立川広域防災基地には災害医療センター、警視庁、内閣府の災害対策本部予備施設、海上保安庁、東京消防庁があります。そのひとつ海上保安庁の中を見学できるのが、この海保フェア。回流水槽でいるるな波を作って船の実験をするのを見ることができたり、灯台の大きなレンズも展示してあり、分厚いレンズには職人技の凄さを感じます。格納庫を利用した展示ブースには、野菜のアントシアニンやPH値を調べたり、チリメンジャコの中からチリメンモンスター(タツノオトシゴやタコ、イカ、カニなどの幼魚)を探し出すコーナーがありました。海保を身近に楽しく親しんでもらうためのコーナーですが、実はこの方たち、すごいんです。海洋環境保全のために海に流れ出した不審なものを化学分析したり捜査したり、音響や画像の電子情報を分析したり。そんなすごいとこ、立川にあったんだ~と思ったら、全国でこの場所にしかないのだから！来年はみなさん、ぜひ行ってみてください。



チリメンモンスターを探しています

赤ちゃんと一緒に『湯を沸かすほどの熱い愛』

10月26日(水)。シネマのたまてばこ★2016×立川シネマシティ×立川市で開催する「赤ちゃん連れでもOK! ママ・パパのための映画会」に行ってきました。今年10周年10回目を迎えるこの映画会。初回から取材させていただいています。地元シネコンのシネマシティと子育て支援の(いれたち)の取組みに、育児中のママさんによる実行委員会(シネマのたまてばこ)が加わって、今では当たり前のようにシネマたちがお子さんと一緒に打ち合わせ、作品を選び、ポスターやチラシを作り、当日の受付もします。赤ちゃんがいるというだけで行動範囲が狭くなる。そこを「お互いさま」の心で映画会は支えられてきました。子育てに力を入れる立川市、今年は「くるりん」までが応援に。子どもが育ってシネママを卒業したママさんたちは、今度は応援部隊に回っています。たくさんの方が応援して大きく成長したこの映画会。おかげさまで涙なしでは観られない素晴らしい作品を、公開前に観ることができました。赤ちゃんの泣き声? 全然気になりませんでしたよ。



スタッフ(シネマ含) 40名

立川からダイヤモンド富士

立川は山がきれいに見える所で、ここに富士山が絡む冬の夕景はため息が出るほどです。日の出や日の入りに、富士山頂に太陽が乗るように光彩を放つ現象をダイヤモンド富士と言います。同じように月が乗ることをパール富士と言うそうです。立川からは12月と1月の一定期間、日没にダイヤモンド富士が見えるのですが、これがどこからでも見えるというわけにはありません。国立極地研究所副所長の中村卓司教授に、ダイヤモンド富士の見える北限線を計算してもらったのは2012年のことでした。それ以来、ダイヤモンド富士が美しく見える場所がわかるようになり、撮影に失敗することが少なくなりました。苦勞しているのは撮影場所を探ること。見通しのきく場所はなかなか無いものです。富士山に落ちる夕陽に向かって怪しげに、脚立を立てたりスタンドを立てたりしていたら、それ、えくてびあんかもしれません。

かたこと

◆とんでも忙しい1ヶ月でした。えくてびあんでは今号と同じ日に、特集号「立川を語る~えくてびあん流によむ1200年~」を発売しました。設立35年のえくてびあんが1200年を語っては本当に申し訳ないのですが、今、諸先輩方々に聞いておかないとわからなくなってしまうことがある、そんな思いから取材を始めました。掲載ページの裏側には、掲載しきれなかった多くのことが隠れています。毎年1回秋に発行される特集号は、月刊とはまた違った味わいです。今号と一緒に楽しみください◆国文研の記事にこんなメールをいただきました。「国文研シリーズは歴史マニアにとってもかなり面白いです！白桦の歴史の断片が逆輸入されたことは驚きました。山間地域で、どうしても石仏のイメージが強かったので、今、古事記を読み返しているのですが、海外の方が本居宣長先生の偉業に匹敵するくらいの研究、翻訳をされていたことにも感動しています。」えくてびあんはいろいろな所でいろいろな方が読んでくださっているのだなと改めて思いました◆毎年10月は街の話題が盛りだくさん。取材するネタが多いほど時の流れを速く感じます。今年の富士山初冠雪は10月26日。富士山らしい富士山になってきて、来月はもう2017年1月号のお届けです。街と人、人と人をつなぐえくてびあん。1年間ありがとうございました。来年も楽しい誌面をお届けしてまいります。みなさま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

12月号 第35巻 通巻385号

平成28年12月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



新しい「立川」をご紹介します

②

先月号から始まった新しい「立川」をご紹介します。見慣れているけれど、あの建物ってなんだろうと思うこと、ありませんか？先月は立川駅北口サンサンロード周辺を。今月号は立川駅を中心に東方面をご紹介します。中央線の線路のまっすぐ先にスカイツリーが見えるんですね。

[立川駅より東方面]

